

# 全体貸借対照表

(平成30年3月31日現在)

(単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
<b>【資産の部】</b>		<b>【負債の部】</b>	
固定資産	28,387	固定負債	9,243
有形固定資産	26,672	地方債等	8,802
事業用資産	20,060	長期未払金	-
土地	10,746	退職手当引当金	440
土地減損損失累計額	-	損失補償等引当金	-
立木竹	-	その他	-
立木竹減損損失累計額	-	流動負債	1,079
建物	20,437	1年内償還予定地方債等	924
建物減価償却累計額	△11,309	未払金	10
建物減損損失累計額	-	未払費用	-
工作物	74	前受金	-
工作物減価償却累計額	△5	前受収益	-
工作物減損損失累計額	-	賞与等引当金	89
船舶	-	預り金	55
船舶減価償却累計額	-	その他	-
船舶減損損失累計額	-	負債合計	10,321
浮標等	-	<b>【純資産の部】</b>	
浮標等減価償却累計額	-	固定資産等形成分	29,700
浮標等減損損失累計額	-	余剰分(不足分)	△9,744
航空機	-		
航空機減価償却累計額	-		
航空機減損損失累計額	-		
その他	-		
その他減価償却累計額	-		
その他減損損失累計額	-		
建設仮勘定	117		
インフラ資産	6,533		
土地	1,843		
土地減損損失累計額	-		
建物	1,611		
建物減価償却累計額	△663		
建物減損損失累計額	-		
工作物	29,527		
工作物減価償却累計額	△26,001		
工作物減損損失累計額	-		
その他	764		
その他減価償却累計額	△602		
その他減損損失累計額	-		
建設仮勘定	54		
物品	255		
物品減価償却累計額	△176		
物品減損損失累計額	-		
無形固定資産	-		
ソフトウェア	-		
その他	-		
投資その他の資産	1,714		
投資及び出資金	269		
有価証券	-		
出資金	269		
その他	-		
投資損失引当金	-		
長期延滞債権	158		
長期貸付金	-		
基金	1,298		
減債基金	-		
その他	1,298		
その他	-		
徴収不能引当金	△11		
流動資産	1,890		
現金預金	471		
未収金	113		
短期貸付金	-		
基金	1,313		
財政調整基金	1,052		
減債基金	261		
棚卸資産	-		
その他	-		
徴収不能引当金	△8		
繰延資産	-		
資産合計	30,277	純資産合計	19,956
		負債及び純資産合計	30,277

※ 下位項目との金額差は、単位未満の四捨五入によるものです。

# 全体行政コスト計算書

自 平成29年4月1日  
至 平成30年3月31日

(単位:百万円)

科目	金額
経常費用	9,432
業務費用	4,211
人件費	1,396
職員給与費	1,219
賞与等引当金繰入額	89
退職手当引当金繰入額	-
その他	87
物件費等	2,581
物件費	1,816
維持補修費	61
減価償却費	697
その他	6
その他の業務費用	235
支払利息	100
徴収不能引当金繰入額	14
その他	120
移転費用	5,221
補助金等	4,441
社会保障給付	719
他会計への繰出金	56
その他	6
経常収益	617
使用料及び手数料	341
その他	275
純経常行政コスト	△8,816
臨時損失	11
災害復旧事業費	4
資産除売却損	7
投資損失引当金繰入額	-
損失補償等引当金繰入額	-
その他	-
臨時利益	1
資産売却益	1
その他	-
純行政コスト	△8,825

※ 下位項目との金額差は、単位未満の四捨五入によるものです。

# 全体純資産変動計算書

自 平成29年4月1日  
至 平成30年3月31日

(単位:百万円)

科目	合計	固定資産 等形成分	余剰分 (不足分)
前年度末純資産残高	19,305	29,295	△9,990
純行政コスト(△)	△8,825		△8,825
財源	9,476		9,476
税金等	6,531		6,531
国県等補助金	2,945		2,945
本年度差額	651		651
固定資産等の変動(内部変動)		405	△405
有形固定資産等の増加		791	△791
有形固定資産等の減少		△722	722
貸付金・基金等の増加		576	△576
貸付金・基金等の減少		△240	240
資産評価差額	-	-	
無償所管換等	-	-	
その他	-	-	-
本年度純資産変動額	651	405	246
本年度末純資産残高	19,956	29,700	△9,744

※ 下位項目との金額差は、単位未満の四捨五入によるものです。

# 全体資金収支計算書

自 平成29年4月1日  
至 平成30年3月31日

(単位:百万円)

科目	金額
<b>【業務活動収支】</b>	
業務支出	8,710
業務費用支出	3,489
人件費支出	1,391
物件費等支出	1,892
支払利息支出	100
その他の支出	106
移転費用支出	5,221
補助金等支出	4,441
社会保障給付支出	719
他会計への繰出支出	56
その他の支出	6
業務収入	9,629
税収等収入	6,512
国県等補助金収入	2,624
使用料及び手数料収入	341
その他の収入	151
臨時支出	4
災害復旧事業費支出	4
その他の支出	-
臨時収入	-
<b>業務活動収支</b>	<b>915</b>
<b>【投資活動収支】</b>	
投資活動支出	1,367
公共施設等整備費支出	791
基金積立金支出	576
投資及び出資金支出	-
貸付金支出	-
その他の支出	-
投資活動収入	561
国県等補助金収入	321
基金取崩収入	239
貸付金元金回収収入	-
資産売却収入	2
その他の収入	-
<b>投資活動収支</b>	<b>△806</b>
<b>【財務活動収支】</b>	
財務活動支出	906
地方債償還支出	906
その他の支出	-
財務活動収入	706
地方債発行収入	706
その他の収入	-
<b>財務活動収支</b>	<b>△201</b>
<b>本年度資金収支額</b>	<b>△92</b>
<b>前年度末資金残高</b>	<b>508</b>
<b>本年度末資金残高</b>	<b>416</b>

前年度末歳計外現金残高	54
本年度歳計外現金増減額	1
本年度末歳計外現金残高	55
本年度末現金預金残高	471

※ 下位項目との金額差は、単位未満の四捨五入によるものです。

## 注記

### 1. 重要な会計方針

- (1) 有形固定資産及び無形固定資産の評価基準及び評価方法
- ① 有形固定資産……………取得原価  
ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。  
ア 昭和59年度以前に取得したもの……………再調達原価  
ただし、道路、河川及び水路の敷地は備忘価額1円としています。  
イ 昭和60年度以後に取得したもの  
取得原価が判明しているもの……………取得原価  
取得原価が不明なもの……………再調達原価  
ただし、取得原価が不明な道路、河川及び水路の敷地は備忘価額1円としています。
- ② 無形固定資産……………取得原価  
ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。  
取得原価が判明しているもの……………取得原価  
取得原価が不明なもの……………再調達原価
- (2) 有価証券及び出資金の評価基準及び評価方法
- ① 満期保有目的有価証券……………償却原価法（定額法）
- ② 満期保有目的以外の有価証券  
ア 市場価格のあるもの……………会計年度末における市場価格（売却原価は移動平均法により算定）  
イ 市場価格のないもの……………取得原価（又は償却原価法（定額法））
- ③ 出資金  
ア 市場価格のあるもの……………会計年度末における市場価格（売却原価は移動平均法により算定）  
イ 市場価格のないもの……………出資金額
- (3) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
- ① 原材料、商品等……………先入先出法による低価法  
ただし、一部の連結対象団体においては、最終仕入原価法によっています。
- (4) 有形固定資産等の減価償却の方法
- ① 有形固定資産（リース資産を除きます。）……………定額法  
なお、主な耐用年数は以下のとおりです。  
建物 6年～50年  
工作物 10年～60年  
物品 3年～15年
- ② 無形固定資産（リース資産を除きます。）……………定額法  
（ソフトウェアについては、当町における見込利用期間（5年）に基づく定額法によっています。）
- ③ リース資産  
ア 所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産  
……………自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法

(5) 引当金の計上基準及び算定方法

① 徴収不能引当金

未収金については、過去5年間の平均不納欠損率により（又は個別に回収可能性を検討し）、徴収不能見込額を計上しています。

長期延滞債権については、過去5年間の平均不納欠損率により（又は個別に回収可能性を検討し）、徴収不能見込額を計上しています。

長期貸付金については、過去5年間の平均不納欠損率により（又は個別に回収可能性を検討し）、徴収不能見込額を計上しています。

② 退職手当引当金

退職手当債務から組合への加入時以降の負担金の累計額から既に職員に対し退職手当として支給された額の総額を控除した額に、組合における積立金額の運用益のうち徳之島町へ按分される額を加算した額を控除した額を計上しています。

ただし、一部の連結対象団体においては、主として期末における退職給付債務及び年金資産の見込み額に基づき計上しています。

③ 損失補償等引当金

履行すべき額が確定していない損失補償債務等のうち、地方公共団体の財政の健全化に関する法律に規定する将来負担比率の算定に含めた将来負担額を計上しています。

④ 賞与等引当金

翌年度6月支給予定の期末手当及び勤勉手当並びにそれらに係る法定福利費相当額の見込額について、それぞれ本会計年度の期間に対応する部分を計上しています。

(6) リース取引の処理方法

① ファイナンス・リース取引

通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

② オペレーティング・リース取引

通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

(7) 連結資金収支計算書における資金の範囲

現金（手許現金及び要求払預金）及び現金同等物

なお、現金及び現金同等物には、出納整理期間における取引により発生する資金の受払いを含んでいます。

(8) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

ただし、一部の連結対象団体（会計）については、税抜方式によっています。

(9) 連結対象団体（会計）の決算日が一般会計等と異なる場合の処理

決算日と連結決算日の差異が3か月を超えない連結対象団体については、当該連結対象団体の決算を基礎として連結手続を行っています。決算日と連結決算日との間に生じた重要な取引については、連結上必要な調整を行っています。

2. 重要な後発事象

該当なし

### 3. 追加情報

#### (1) 連結対象団体（会計）

団体(会計)名	区分	連結の方法	比例連結割合
国民健康保険事業特別会計	公営事業会計	全部連結	-
介護保険事業特別会計	公営事業会計	全部連結	-
後期高齢者医療特別会計	公営事業会計	全部連結	-
農業集落排水事業特別会計	公営事業会計	全部連結	-
公共下水道事業特別会計	公営事業会計	全部連結	-
水道事業特別会計	地方公営企業会計	全部連結	-

なお、連結対象とすべき団体（会計）のうち、当該団体（会計）財務書類作成状況により、連結をしていない団体（会計）があります。  
連結の方法は次のとおりです。

① 地方公営事業会計は、すべて全部連結の対象としています。

ただし、地方公営企業法の財務規定等が適用されていない地方公営企業のうち、当該規定等の適用に向けた作業に着手しているもの（平成29年度までに着手かつ集中取組機関内に当該規定等を適用するものに限り）については、連結対象団体（会計）の対象外としています。したがって、一般会計等における他会計への繰出金等が内部相殺されない場合があります。

簡易水道事業会計 企業債残高 1,079百万円  
他会計繰入金 56百万円

#### (2) 出納整理期間

地方自治法第235条の5に基づき、出納整理期間を設けられている団体（会計）においては、出納整理期間における現金の受払い等を終了した後の計数をもって会計年度末の計数としています。

なお、出納整理期間を設けていない団体（会計）と出納整理期間を設けている団体（会計）との間で、出納整理期間に現金の受払い等があった場合は、現金の受払い等が終了したものとして調整しています。

#### (3) 表示単位未満の取扱い

千百万円未満を四捨五入して表示しているため、合計金額が一致しない場合があります。

#### (4) 売却可能資産の範囲及び内訳は、次のとおりです。

##### ア 範囲

普通財産として管理している公有財産のうち売却可能な資産

##### イ 内訳

事業用資産 507百万円（224百万円）

土地 507百万円（224百万円）

平成30年3月31日時点における売却可能価額を記載しています。

売却可能価額は、地方公共団体の財政の健全化に関する法律における評価方法によっています。

上記の（224百万円）は貸借対照表における簿価を記載しています。

## 【様式第5号】

## 附属明細書

## 1. 貸借対照表の内容に関する明細

## (1) 資産項目の明細

## ① 有形固定資産の明細

(単位:百万円)

区分	前年度末残高 (A)	本年度増加額 (B)	本年度減少額 (C)	本年度末残高 (A)+(B)-(C) (D)	本年度末 減価償却累計額 (E)	本年度償却額 (F)	差引本年度末残高 (D)-(E) (G)
事業用資産	30,957	447	29	31,374	11,314	416	20,060
土地	10,746	-	-	10,746	-	-	10,746
立木竹	-	-	-	-	-	-	-
建物	20,172	295	29	20,437	11,309	412	9,127
工作物	39	35	-	74	5	4	70
船舶	-	-	-	-	-	-	-
浮標等	-	-	-	-	-	-	-
航空機	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-
建設仮勘定	-	117	-	117	-	-	117
インフラ資産	33,479	321	-	33,799	27,266	258	6,533
土地	1,840	3	-	1,843	-	-	1,843
建物	1,611	-	-	1,611	663	80	948
工作物	29,245	282	-	29,527	26,001	164	3,526
その他	764	-	-	764	602	13	162
建設仮勘定	19	35	-	54	-	-	54
物品	239	23	7	255	176	24	79
合計	64,674	791	36	65,429	38,756	697	26,672

## ② 有形固定資産の行政目的別明細

(単位:百万円)

区分	生活インフラ・ 国土保全	教育	福祉	環境衛生	産業振興	消防	総務	合計
事業用資産	3,203	11,958	112	410	468	82	3,826	20,060
土地	87	8,425	-	-	8	-	2,226	10,746
立木竹	-	-	-	-	-	-	-	-
建物	3,059	3,416	112	410	447	82	1,600	9,127
工作物	28	29	-	-	13	-	-	70
船舶	-	-	-	-	-	-	-	-
浮標等	-	-	-	-	-	-	-	-
航空機	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-
建設仮勘定	29	88	-	-	-	-	-	117
インフラ資産	5,058	-	-	1,312	163	-	-	6,533
土地	1,618	-	-	61	163	-	-	1,843
建物	948	-	-	-	-	-	-	948
工作物	2,469	-	-	1,056	-	-	-	3,526
その他	-	-	-	162	-	-	-	162
建設仮勘定	22	-	-	32	-	-	-	54
物品	0	22	1	2	22	28	4	79
合計	8,260	11,980	114	1,724	654	110	3,830	26,672